

中国支社

HIROSHIMA

〒732-0821

広島市南区大須賀町14番12号

第一ビル

TEL(082)263-5528 FAX(082)568-2927

西日本ネ

中国

「くにびき交流会」開催

島根県鉄工会

（本社）北九州市。本
多利光社長）はこのほ
ど、2019年度の成
長戦略を明らかにし
た。システムのレベル
アップを図ると同時に
新商品開発を継続、強
の効率化を果たす。新
商品は昨年発表した蓄
光鋼板について、「ぼた
る」と命名し、販売開
始に向けた詰め作業
を行っている。塗装鋼
板メーカーとしてさら

ていく方針
同社は働き方改革の
一環として、業務の効
率化を図るため、シス
テムのレベルアップを
実施。6月に経理面を
中心に社内システム

を身した
また、流通業者に委
託しているヤード在庫
について、9月にクラ
ウドを利用した在庫管
理システムの開発に着
手。同社と流通がリア
のエネルギーが強ければ
明るくかつ長時間発光
し、逆に弱くと薄い明
るさで短時間の発光と
いう性質を持つ。用途
は店舗や工場、ビルな
らみ45人が参加した。
総会では近藤尚紀・日

本製鉄薄
板室長
動向につ
まに足元
解説。総
会による特
の英雄
ぶ人間力
総会で
ナカムラ

「鉄のふるさと」に300人

島根県松江市で15回目
となる「くにびき交流
会」を開催した。日本
製鉄、JFEスチール、
神戸製鋼所など大手鉄
鋼メーカーをはじめ、
機械・工具メーカーや
商社、行政、金融機関
など全国から約300
人が集まり、年に1度
の交流会は大いに盛り
上がった。

謝申し上げる。昨年、
当会の80周年を機に、
新しく作ったレジヨン
を実現すべく、ものづ
くりフェアを開いた。
メーカーや商社の皆さ
まに協力いただいた
おかげで6000人以上
上の来場があり、成功
裏に終えることができ
た。4年後の85周年ま
では2回目のフェア
を開きたいと考えてい
る。そこでは、鉄のふ
るさとで、鉄が未来に
向かって成長している
ことも披露したい。現
在、島根県では国の支
援で島根大が中心とな
り、航空機や電気自動
車（EV）に使われる
新たな金属材料の開発
に取り組んでいる。鐵
工会もコンソーシアム
に参画している。4年
後までに一定の成果を

出し、次の世代が鉄の
未来に向かって挑戦す
る姿を皆さまに示した
い」と次回のフェア開
催に意欲を示し、「交流
会が皆さまにとって、
有意義なものとなるこ
とを祈念する」と締め
くくった。

続いて、JFEスチ
ールの金子堅一郎・中
国支社長があいさつに
立ち、「足元の鉄鋼を取
り巻く環境は国内では
人件費や物流費のアップ、海外では需要の低
迷による市況の悪化と

【福岡
業協会九
長II神崎
工社長）
鉄骨ファ
で組織す
会（部会
・鶴田工
日、福岡
の懇談会
ブから24
15人が参
はじめ
は「私た
年から続
不足の影
良い状
る。来年
クイヤー
むかもし
021年



児玉理事長

冒頭、児玉理事長は
「神々のふるさと、わ
れわれにとっては鉄の
ふるさとでもある出雲
の地に、この神在月に
お集まりいただき、感
謝申し上げます。昨年、
当会の80周年を機に、
新しく作ったレジヨン
を実現すべく、ものづ
くりフェアを開いた。
メーカーや商社の皆さ
まに協力いただいた
おかげで6000人以上
上の来場があり、成功
裏に終えることができ
た。4年後の85周年ま
では2回目のフェア
を開きたいと考えてい
る。そこでは、鉄のふ
るさとで、鉄が未来に
向かって成長している
ことも披露したい。現
在、島根県では国の支
援で島根大が中心とな
り、航空機や電気自動
車（EV）に使われる
新たな金属材料の開発
に取り組んでいる。鐵
工会もコンソーシアム
に参画している。4年
後までに一定の成果を



金子支社長

その後、日本製鉄の
白田学・中国支店長が
「昨年は、たたら製鉄
から脈々と受け継がれ
る島根県のものづくり
の底力を内外にPRし

松本吉郎専務理事が出
席者に感謝の言葉を述
べ、ユアサ商事の森下
昌志・執行役員中国支
社長の三本締めで散会
となった。



白田・日本製鉄中国支店長

いう非常に厳しい局面
を迎えている。われわ
れにとって大きな課題
は、鉄の需要開拓と次
代の担い手の確保だ。
昨年のもものづくりフェ
アでは行政やコンサル
タントに鉄の魅力をPR
することができ、多
くの学生とも交流を持
て、大きな意味があっ
た。こうした動きは必
ず実を結ぶ。今後も継
続してほしい」とエ
ールを送った。

【福岡
業協会九
長II神崎
工社長）
鉄骨ファ
で組織す
会（部会
・鶴田工
日、福岡
の懇談会
ブから24
15人が参
はじめ
は「私た
年から続
不足の影
良い状
る。来年
クイヤー
むかもし
021年